

# 最短1ヶ月の予兆保全サービス

設備保全のプロが振動測定で  
生産設備の健康状態を  
「みえる化」します！

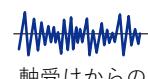
## 振動測定とは？

振動測定は、ヒトの耳で聞こえるよりも前に、設備の劣化具合がわかる設備の診断法です。

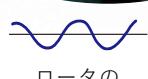
設備の状態や不具合には固有の振動があります！



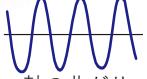
ミスマライメント



軸受けからの振動



ロータのアンバランス



軸の曲がり

## こんな工場におすすめ／

※業界や業種は問いません

- ✓ 1個流しの製造をしている
- ✓ 液体を取り扱うラインがある
- ✓ 長時間連続稼働している設備がある（※6時間以上）



こんなことで  
お悩みの方に

突発停止する設備が多く困っている  
1台の設備トラブルでライン停止して大赤字になる  
振動センサーを使って予兆保全をしたいがやり方がわからない



## 巡回測定 料金プラン

### 新規プラン

3回測定 + 報告書

- 100万円/回※初回限定
- 最短1ヶ月、最低3回訪問

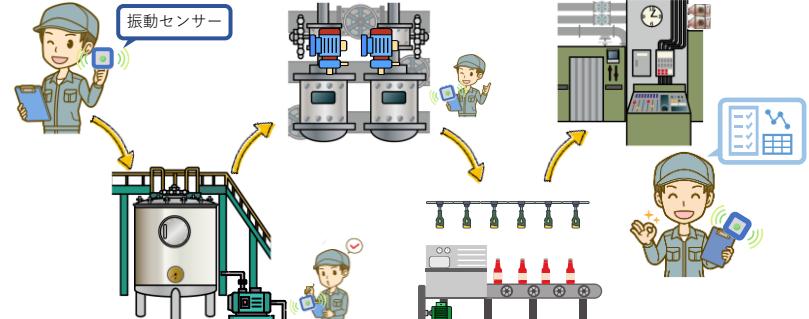
### 通常プラン

1回測定 + 報告書

- 都度支払い：50万円/回
- 年契約：35万円/回

※上記価格は、1回に付き100箇所の測定を想定しています。  
測定箇所が50箇所増えるごとに10万円/回が加算されます。

## 【巡回測定のイメージ】



工場内を巡回し、振動測定を実施！工事不要！操業中に測定！

## 他社とココが違う！

「デバイスだけ渡して、終わり。」ではありません。

設備保全の専業会社が責任を持って測定します。

報告書にて、設備の状態と行うべきアクションをお伝えします。

振動測定器の使い方アドバイスします。

さらに、測定位置、項目、頻度のお悩みにお答えします。

振動以外の予兆保全の方法を提案します。

振動センサーは汎用性が高いですが、万能ではありません。

振動測定に向かない設備の場合は、他の方法を考えます。

## 効果と体験者の声



保全部門(40代)

設備の状態が振動測定値のトレンドによって見える化されたことで、設備が故障する数ヶ月前から不調を把握できるようになりました。また、日々行っている潤滑管理の効果を振動値のトレンドからも確認できるようになりました。日々の予防保全の重要性を改めて実感しました。



設備開発(40代)

メーカーのデモで自分たちで振動測定を行った際は、その効果を実感できませんでした。しかし、今回測定してもらうことで、私たちには測定位置やデータの読み取りに関する知見が不足していたと気付きました。提出される報告書は、データの読み方や対応の優先順位が明記されており、わかりやすく、大変助かりました。



生産技術(50代)

これまで自分たちで振動測定を行い、Excelで集計していたため、測定と集計に工数がかかっていました。保全ラボに依頼するようになってからは、測定結果のみが報告されるため、業務工数を削減できました。継続的に依頼したいです。もっと早く依頼すればよかったと感じています。

